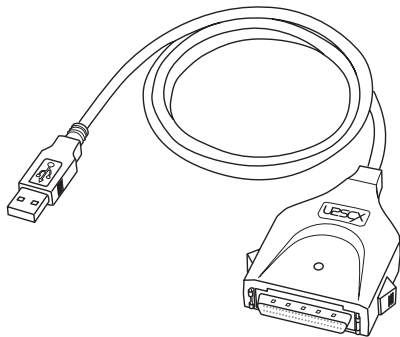


USB2.0 - Ultra SCSI コンバーター **U2SCX/U2SCXV**

ユーザーズマニュアル

2010年5月 第4.0版



本製品を正しく安全にお使いいただくためご使用前に必ず本書をよくお読みください。

ラトックシステム株式会社

 **RATOC Systems, Inc.**

目次

●	安全にご使用いただくために	3
1	はじめに	6
	-1. 内容物の確認	6
	-2. 対応OS	7
	-3. 対応パソコン	7
	-4. 対応SCSI機器	7
	-5. 各部名称	9
	-6. 使用上の注意	9

Windows編

2	Windowsでのセットアップ	11
	-1. 添付CD(ソフトウェア)のインストール	12
	-2. 【WNASPI32ドライバ】のインストール	13
	-3. 機器の接続	14
	-4. ドライバのインストール	16
3	本機の取り外しについて	28
4	ユーティリティソフトについて	29
	-1. コンフィギュレーションユーティリティの起動手順	29
	-2. コンフィギュレーションについて	31
	-3. ファームウェアアップデートについて	33
	-4. フォーマットユーティリティについて	35

Mac OS編

- 5** Macでのセットアップ 42
- 1. 機器の接続 42
 - 2. スキャナ、テープドライブをMac OS Xで使用するには 44
- 6** Mac OS X用ユーティリティソフトについて 45
- 7** Mac OS 9.x用ユーティリティソフトについて 50
-
- 8** こんなときは 58
- 1. トラブルQ&A 58
 - 2. ドライバの削除 60
- 9** お問い合わせ 63
- 1. 本製品に関するお問い合わせ 63
 - 2. プロダクトキーについて 64
 - 3. 修理について 65
- 10** オプション品のご案内 66
- 11** 製品仕様 67
- U2SCX/U2SCXV 質問用紙

安全にご使用いただくために

本製品は安全に充分配慮して設計をおこなっていますが、誤った使い方をすると火災や感電などの事故につながり大変危険です。ご使用の際は、警告/注意事項を必ず守ってください。

表示について

この取扱説明書は、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、火災や感電などにより、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



この表示を無視して誤った取扱いをすると、感電やその他の事故により、人が負傷または物的損害が発生する可能性がある内容を示しています。



- 製品の分解や改造等は、絶対におこなわないでください。
- 無理に曲げる、落とす、傷つける、上に重い物を載せることはおこなわないでください。
- 製品が水・薬品・油等の液体によって濡れた場合、ショートによる火災や感電の恐れがあるため、使用しないでください。



- 本製品は電子機器ですので、静電気を与えないでください。
- ラジオやテレビ、オーディオ機器の近く、モーターなどのノイズが発生する機器の近くでは誤動作することがあります。必ず離してご使用ください。
- 高温多湿の場所、温度差の激しい場所、チリやほこりの多い場所、振動や衝撃の加わる場所、スピーカ等の磁気を帯びた物の近くで保管、使用しないでください。
- 煙が出たり異臭がする場合は、直ちにパソコンや周辺機器の電源を切り、電源ケーブルもコンセントから抜いてください。
- 本製品は、医療機器、原子力機器、航空宇宙機器、輸送機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器での使用は意図されておりません。これらの設備、機器制御システムに本製品を使用し、本製品の故障により人身事故/火災事故/その他の障害が発生した場合、いかなる責任も負いかねます。

注意

- 万一の事態に備えて、本製品をご使用になる前にパソコンのハードディスクや本製品に使用するハードディスク内に保存されているデータやプログラムのバックアップをおこなうことを推奨します。ハードディスクが破損したことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 取り付け時、鋭い部分で手を切らないよう、充分注意して作業をおこなってください。
- 配線を誤ったことによる損失、逸失利益等が発生した場合でも、いかなる責任も負いかねます。
- 本機をACアダプタで使用する場合は、必ず専用のACアダプタ(別売)を使用してください。発熱や発火、故障の原因となりますので、他のACアダプタを絶対に使用しないでください。
- 本機の挿入口に異物などを入れないでください。故障の原因となります。
- データの書き込みもしくは読み込み中に、振動や衝撃を与えたり、本機から取り外したりしないでください。データが破壊もしくは消失する恐れがあります。
- SCSIコネクタのピンは非常に破損しやすくなっていますので、取り扱いに充分注意してください。万一、取り扱い上の不注意などによりピンを破損した場合は無償保証の対象外となります。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

その他のご注意

- 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願い致します。
- 本製品(ソフトウェア含む)は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはございません。
- 製品改良のため、予告なく外觀または仕様の一部を変更することがあります。
- 本製品の保証や修理に関しては、添付の保証書に記載されております。必ず内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 運用の結果につきましては責任を負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- 本製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従ってください。条例の内容については各地方自治体にお問い合わせください。
- Windowsは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Apple、Mac、Mac OSは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 本製品および本マニュアルに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。ただし本文中にはRおよびTMマークは明記しておりません。
- “REX”は株式会社リコーが商標権を所有していますが、弊社は使用許諾契約により本商標の使用を認められています。

1 はじめに

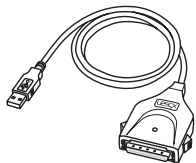
この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。末永くご愛用賜りますようお願い申し上げます。

本書は本製品の導入ならびに運用方法を説明したマニュアルです。正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず本書をよくお読みください。また、お読みになった後も本書は大切に保管してください。

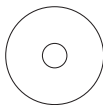
1-1. 内容物の確認

パッケージの中に下記の物がすべて揃っているかご確認ください。

万が一不足がありましたら、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

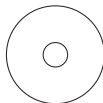


● 製品本体



● ソフトウェア
CD-ROM

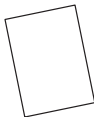
U2SCXV(7/Vista同梱モデル)に添付、



● ソフトウェア
CD-ROM (for 7/Vista)



● ユーザーズマニュアル
(本書)



● 保証書

※U2SCXパッケージには、上記ソフトウェアCD-ROM(for 7/Vista)を添付していません。有償にて別途提供となります。

⇒66ページ 10「オプション品のご案内」参照

1 -2. 対応OS

Windows 7/Vista(U2SCXVのみ対応)、XP、2000、Me、98SE
Mac OS X 10.2.1以降、9.2.1以降 (但し、Mac OS 9.2.xではUSB1.1での使用になります。)

※ Windows 7/Vista/XPIは64ビット版にも対応。

※ 本製品に添付のMac OS X用ユーティリティは、MacOS X-10.3.9以降になります。
Mac OS X-10.2.1~10.3.8までのバージョンをご使用の場合、弊社ホームページよりダウンロードをおこなってください。

1 -3. 対応パソコン

USBポートを標準装備したWindows PCまたはMac

1 -4. 対応SCSI機器

コネクタが“ハーフピッチ・ピンタイプ50ピン/メス型コネクタ”でタームパワーが供給可能なSCSI-I、SCSI-II、Ultra SCSI準拠のデバイス(シングルエンドタイプ)

※コネクタの形状が異なる機器では、市販されている“変換コネクタ”を別途ご用意ください。

※以下の場合は、別売のACアダプタ(RSO-AC05)またはバスパワーケーブル(RCL-USBDC-07)が必要です。⇒66ページ 10「オプション品のご案内」参照

- ・タームパワーを供給しない(zipなど)、もしくはタームパワーの供給が充分でない(ACアダプタタイプのMOなど)SCSI機器に装着する場合

【次ページへつづく】

◆本製品で使用可能な一般的なSCSI機器は、下表の通りです。

	Windows	Mac OS 9	Mac OS X
ハードディスク、MO、CD-ROM	○	○	○
CD-RW	○	×	○
DVD-RAM/ROM/RW	○	×	×
(フィルム) スキャナ	○	×	○※1
テープドライブ	○	×	○
プリンター	×	×	×

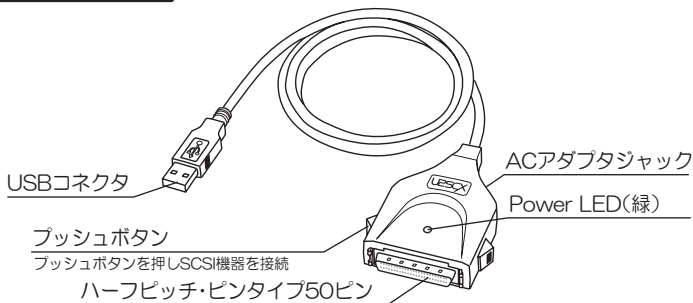
※1 Hamrick社製Scanソフトウェアにて使用できます。

製品添付のコンフィギュレーションユーティリティで「Mass storage mode」への変更が必要です。

最新の情報(対応OS/パソコン/SCSI機種)は、ホームページにてご確認ください。

<http://www.scsiproshop.com/>

1-5. 各部名称



1-6. 使用上の注意

※PD、CDチェンジャーは使用できません。

※SCSI機器に添付のソフトウェア/ユーティリティなどは、使用できない場合があります。

※弊社ドライバを使用時は、スリープモードに対応しません。

(Macでのご注意)

※Mac OS 9.xでご使用の場合、接続したストレージ機器(HD、MO、Zip、Jaz)のフォーマット変更、区画変更はできません。

※MacではSCSI機器のデジチェーンはできません。

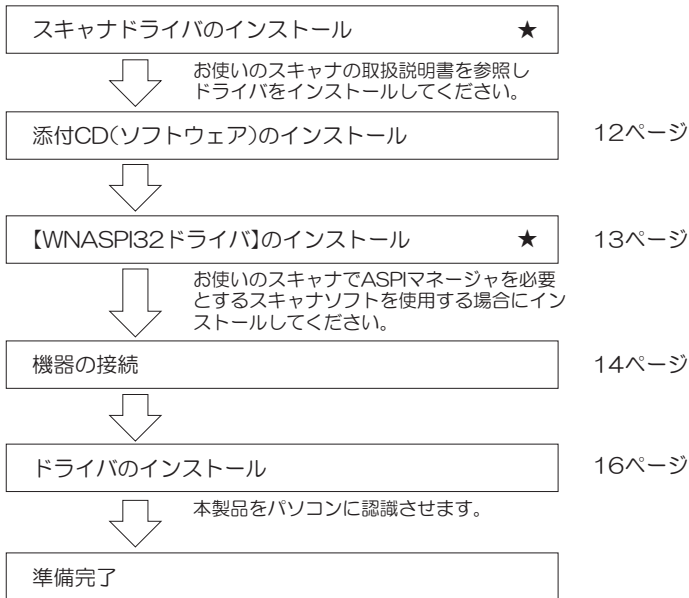
Windows編

本章からはWindowsをご使用の方への説明になります。
Mac OSをご使用の方は41ページへお進みください。

2

Windowsでのセットアップ

お使いのSCSI機器によって、★印の作業はスキップしてください。



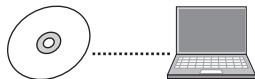
2-1. 添付CD(ソフトウェア)のインストール

本インストーラでは、下記ソフトウェアのインストールがおこなわれます。

- 本機のドライバおよび各種ユーティリティ
- WinASPIドライバ (Windows 7/Vista用のインストーラのみ)

1. 添付CDを挿入してください。
インストーラが自動的に開始します。

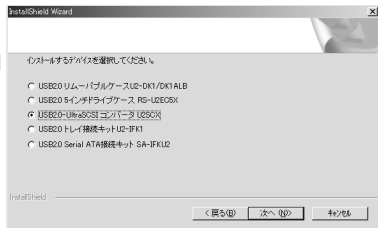
インストーラが自動的に開始しない場合は、**【マイコンピュータ】の【CDドライブ】を開き、【Setup.exe※】をダブルクリックしてください。**



※Windows 7/Vistaでは【SetupSCSIUtilityU2SCX.exe】

2. 画面の指示に従ってインストールを進めてください。

※【Windows XP/2000/Me/98SEの場合、インストール途中、右画面が表示されます。【USB2.0-UltraSCSI コンバータU2SCX】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



3. インストール完了後、Windows XP/2000/Me/98SEはコンピュータを再起動してください。
Windows 7/Vistaの場合、再起動は不要です。

2-2. 【WNASPI32ドライバ】のインストール

- Windows 7/Vistaの場合 ⇒ **2**-1.でインストール済み。次の手順へ。
Windows XP/2000の場合 ⇒ 下記説明を読み、必要な場合はインストール。
Windows Me/98SEの場合 ⇒ 非対応。インストールしないでください。

<WNASPI32ドライバの説明>

Windows XP、2000上でのイメージスキャナ、フィルムスキャナの接続で、“ASPIマネージャ (WNASPI32)”を必要とするスキャナソフトを使用する場合にインストールしてください。

<注意事項>

- ※スキャナ以外のSCSI機器 (CD-ROM、CD-R/-RW、DVD-ROM/-RAM、MO、HD、Zipドライブなどを接続する方はインストールしないでください。
- ※Windows XP/2000に対応している32bit版ASPIマネージャです。
- ※ORBのORB Tool を使用する場合にも必要です。
- ※CD-R/RW用のライティングソフトには、ASPIマネージャが含まれていますのでこのWNASPI32.DLLへ差しかえる必要はありません。特に、Adaptec社 Easy CD Creatorがインストールされている環境で、このWNASPI32.DLLへ差しかえるとライティングができなくなりますのでご注意ください。
- ※SCSI-ID番号7以上には対応しておりません。
- ※WideSCSI機器を接続する場合は、SCSI-ID番号は0~6に設定してください。

<インストール方法>

1. 添付CDを挿入してください。インストーラが起動した場合は【キャンセル】を押してください。
2. 【マイコンピュータ】→【CDドライブ】を開き、【U2SCX】フォルダにある【ASPI32】フォルダを開いてください。その中の【WNASPI32.inf】ファイル選択し、右クリックからプルダウンメニューを表示し、【インストール】を選択してください。
3. 数秒でインストールは完了します。(特にメッセージの表示はありません。)再起動をおこなってください。

2 -3. 機器の接続

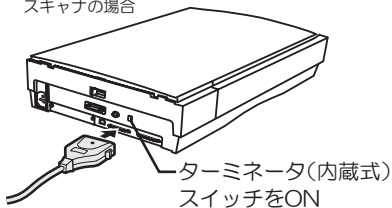
⚠ 注意

※本機のSCSIコネクタピンは非常に破損しやすくなっていますので、取り扱いに充分注意してください。万一、取り扱い上の不注意などによりピンを破損した場合は無償保証の対象外となります。

※ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

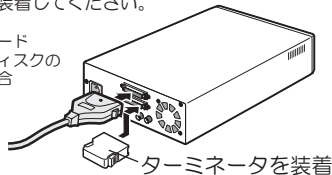
1. スキャナなどのSCSI機器のドライバは、あらかじめインストールを済ませておきます。インストール方法は、お使いのSCSI機器の取扱説明書をご覧ください。
2. SCSI機器の電源OFFを確認し、本機とSCSI機器を接続してください。

スキャナの場合



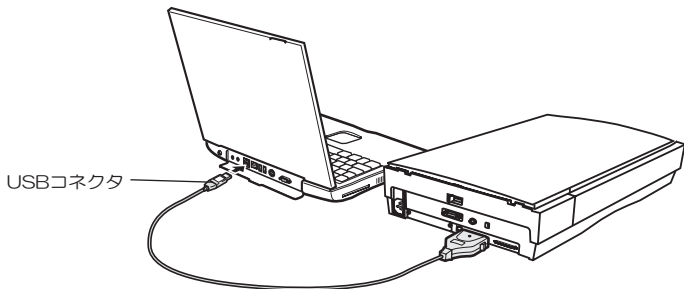
ターミネータが内蔵されていない場合は、必ず【アクティブターミネータ(終端装置)】を装着してください。

ハードディスクの場合



3. SCSI機器のID番号を【7】以外で設定してください。(ID番号【7】は本機で使用しています。) 設定スイッチは通常、SCSI機器の背面パネルにあります。詳しくはSCSI機器の取扱説明書をご覧ください。

4. パソコンの電源をONにしてください。
5. SCSI機器の電源をONにしてください。本機のPower LEDが点灯します。
※点灯しない場合、別売のACアダプタ(RSO-AC05)を接続してください。
6. 本機のUSBコネクタをパソコンに接続してください。



6. 本機が認識されると、すぐにドライバのインストールが始まります。
16ページ **2**-4.「ドライバのインストール」へ進んでください。

2-4. ドライバのインストール

インストールされるドライバは、接続環境により異なります。

- HD、MO、CD、DVDなどのドライブを1台だけ接続している環境。
→ **【USBマストレージモード】**として、Windows標準のマストレージドライブがインストールされます。
- デイジーチェーン接続や、スキャナを接続している環境。
→ **【SCSIエミュレーションモード】**として、本機専用ドライバ、弊社製マストレージドライバ等がインストールされます。

OSごとにドライバのインストール手順を説明します。

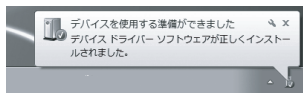
Windows 7の場合	⇒17ページ
Windows Vistaの場合	⇒19ページ
Windows XPの場合	⇒21ページ
Windows 2000の場合	⇒26ページ
Windows Me、98SEの場合	⇒27ページ

Windows 7の場合

※画面の例はWindows 7 32ビット版です。64ビット版では画面が若干異なります。

【USBマストレージモードの場合】

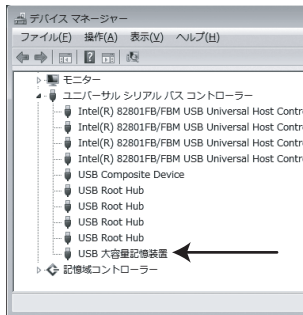
1.Windows標準ドライバが自動的にインストールされます。



2.インストールが終わりましたら、【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】をクリック→【デバイスマネージャー】をクリックしてください。

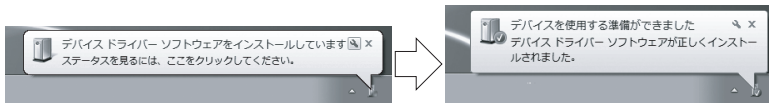
※デバイスマネージャーの開き方は、コントロールパネルホームの場合です。クラシック表示の場合は切り替えてください。

右図のように、【USB大容量記憶装置】が表示されていれば、正常にインストールされています。



【SCSIエミュレーションモードの場合】

1.本機のドライバが自動的にインストールされます。



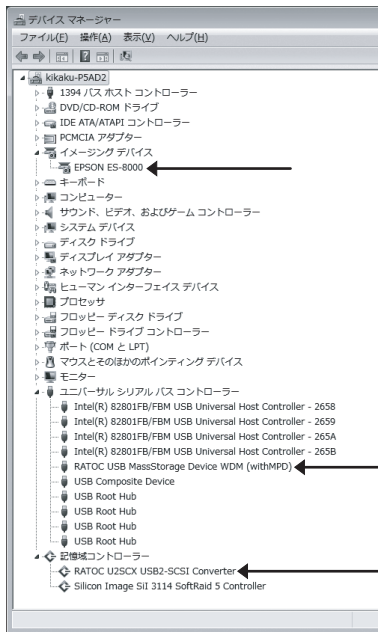
※事前にスキャナのドライバをインストールしている場合は、自動的にデバイスドライバソフトウェアもインストールされます。

2. インストールが完了しましたら、【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】をクリック→【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

※デバイスマネージャの開き方は、コントロールパネルホームの場合です。クラシック表示の場合は切り替えてください。

右図のように、【RATOC USB Mass Storage Device WDM (withMPD)】、【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】が表示されていれば、正常にインストールされています。

また、右図の例は、スキャナを接続していますので【EPSON ES-8000】と表示されています。

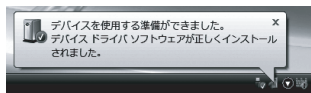


Windows Vistaの場合

※画面の例はWindows Vista 32ビット版です。64ビット版では画面が若干異なります。

【USBマストレージモードの場合】

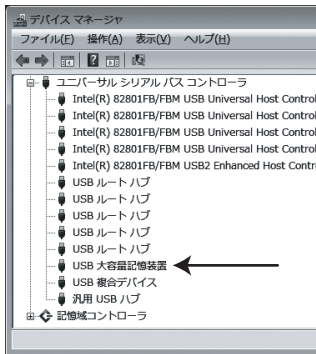
1.Windows標準ドライバが自動的にインストールされます。



2.インストールが終わりましたら、【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】をクリック→【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

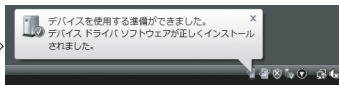
※デバイスマネージャの開き方は、コントロールパネルホームの場合です。クラシック表示の場合は切り替えてください。

右図のように、【USB大容量記憶装置】が表示されていれば、正常にインストールされています。



【SCSIエミュレーションモードの場合】

1.本機のドライバが自動的にインストールされます。



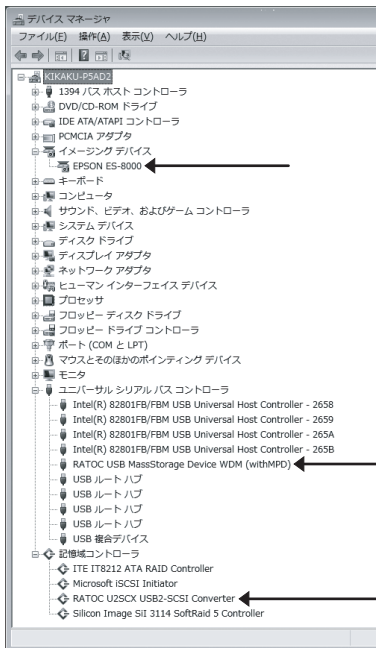
※事前にスキャナのドライバをインストールしている場合は、自動的にデバイスドライバソフトウェアもインストールされます。

2. インストールが完了しましたら、【コントロールパネル】→【ハードウェアとサウンド】をクリック→【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

※デバイスマネージャの開き方は、コントロールパネルホーム の場合です。クラシック表示の場合は切り替えてください。

右図のように、【RATOC USB Mass Storage Device WDM (withMPD)】、【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】が表示されていれば、正常にインストールされています。

また、右図の例は、スキャナを接続していますので【EPSON ES-8000】と表示されています。



Windows XPの場合

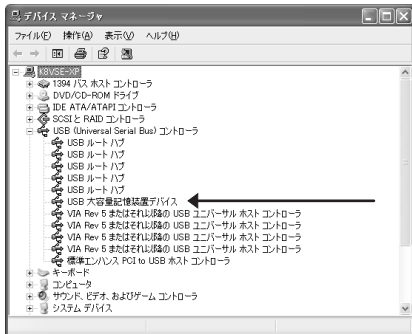
※画面の例はWindows XP 32ビット版です。64ビット版では画面が若干異なります。

【USBマスタートレージモードの場合】

1.Windows標準ドライバが自動的にインストールされます。

2.インストールが終わりましたら、【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし、【ハードウェア】タブの【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

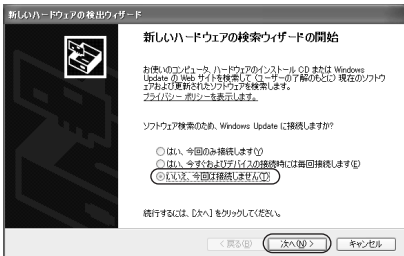
右図のように、【USB大容量記憶装置デバイス】が表示されていれば、正常にインストールされています。



【SCSIエミュレーションモードの場合】

1.ウィザードが起動します。
【いいえ、今回は接続しません】を選択し、【次へ】をクリックしてください。

※環境により右図画面は表示されません。



- 2.【ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



- 3.しばらくすると、右図のような警告メッセージが表示されますが、【続行】をクリックしてください。

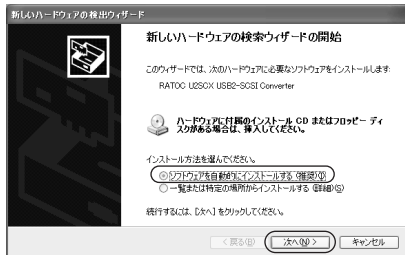


- 4.右図画面が表示されれば、【完了】をクリックしてください。



※Windows XP 64ビット版の場合、
【RATOX USB MassStorage Device
WDM(withMPD)x64】と表示されます。

- 5.続いて、右図のウィザードが表示されます。【ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



- 6.再度、右図の警告メッセージが表示されますが、【続行】をクリックしてください。

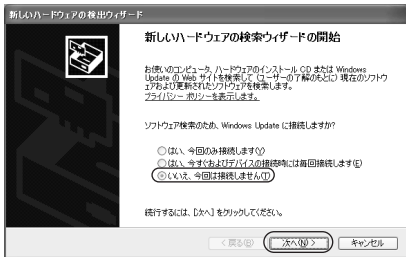


- 7.右図画面が表示されれば、【完了】をクリックしてください。

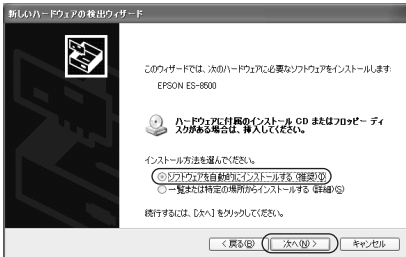
※Windows XP 64ビット版の場合、【RATOX U2SCX USB2-SCSI Converter x64】と表示されます。



8. スキャナを接続している場合、引き続き、右図のウィザードが表示されます。【いいえ、今回は接続しません】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



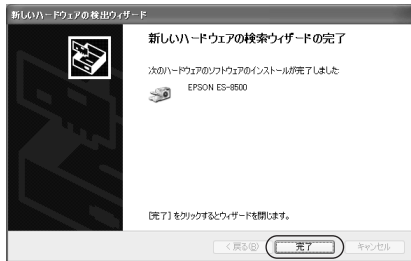
9. 事前にスキャナのドライバをインストールしている場合、【ソフトウェアを自動的にインストールする(推奨)】を選択し、【次へ】をクリックしてください。



10. 右図の警告メッセージが表示されますが、【続行】をクリックしてください。



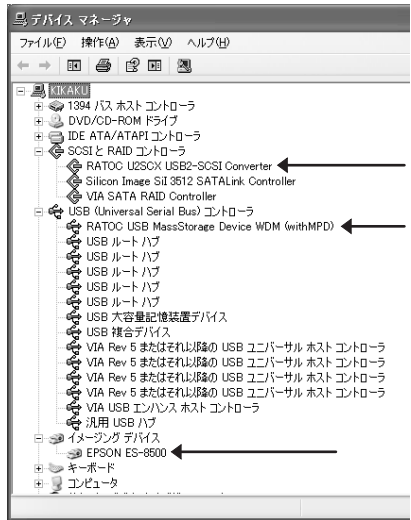
- 11.この画面になればインストールは完了です。【完了】をクリックしてください。



- 12.インストールが終わりましたら、【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし、【ハードウェア】タブの【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

右図のように【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】、【RATOC USB MassStorage Device WDM (withMPD)】が表示されていれば、正常にインストールされています。

また、右図の例は、スキャナを接続していますので【EPSON ES-8500】と表示されています。



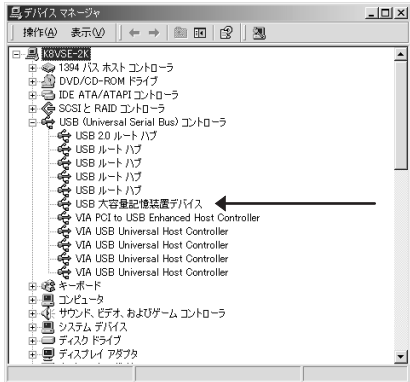
Windows 2000の場合

【USBマスタートレージモードの場合】

1. Windows標準ドライバが自動的にインストールされます。

2. インストールが終わりましたら、【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし、【ハードウェア】タブの【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

右図のように、【USB大容量記憶装置デバイス】が表示されているれば、正常にインストールされています。



【SCSIエミュレーションモードの場合】

1. ウィザードが起動します。
インストール中、右図が表示されますが、【はい】をクリックしてください。

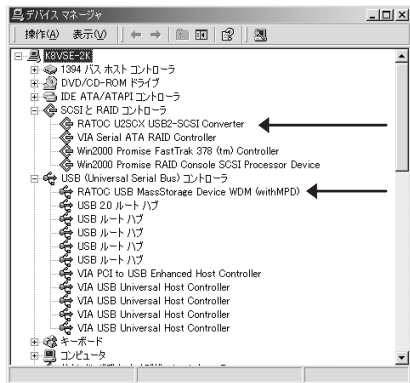


2.自動的にインストールは完了します。

※スキャナを接続している場合、引き続きインストールウィザードが開始されますので、インストールをおこなってください。

インストール後、【コントロールパネル】→【システム】をダブルクリックし、【ハードウェア】タブの【デバイスマネージャ】をクリックしてください。

右図のように【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】、【RATOC USB MassStorage Device WDM (WithMPD)】が表示されていれば、正常にインストールされています。



Windows Me、98SEの場合

Windows Me、及び98SEをご使用の場合、接続形態に関係なく【SCSIエミュレーションモード】として本機専用ドライバ、弊社製マストレージドライバがインストールされます。

ドライバは自動的にインストールされます。インストールが完了すると、タスクバーに右記アイコンが表示されます。

※スキャナを接続している場合、引き続きインストールウィザードが開始されますので、インストールをおこなってください。

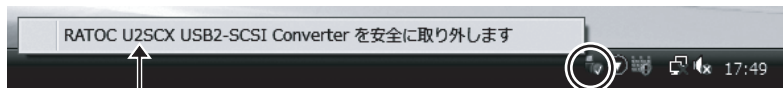


3

本機の取り外しについて

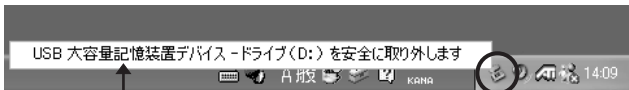
本機をパソコンから取り外す場合は、各OS共、タスクトレイにある取り外しアイコン（下図○印のアイコン）上で“左クリック”をおこなってください。

Windows 7/Vistaの場合



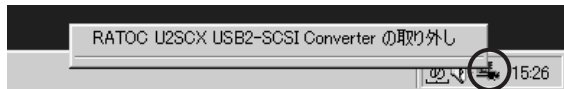
注：表示される文字はモードにより異なります。

Windows XP、2000の場合



注：表示される文字はモードにより異なります。

Windows Me、98SEの場合



上記表示部分を選択しクリックすると、「安全に取り外せます」のメッセージが表示されます。【OK】をクリックし、本機のUSBコネクタをパソコンから取り外してください。

4 ユーティリティソフトについて

本製品には、2つのユーティリティソフトを添付しております。

■コンフィギュレーションユーティリティ

このソフトは、本機に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなったり、本機のファームウェアのアップデートをおこなうことができます。



U2SCXUty.exe

⚠ 注意: 現在接続したSCSI機器が問題なく動作している場合、むやみにコンフィギュレーション(設定の変更)をおこなわないでください。

■フォーマットユーティリティ

このソフトは、本機に接続したハードディスクやMOドライブのフォーマットを行うことができます。



RSFfmt2XP.EXE

必要に応じてご使用ください。

4-1. コンフィギュレーションユーティリティの起動手順

コンフィギュレーションユーティリティを使用する場合、下記手順で起動してください。

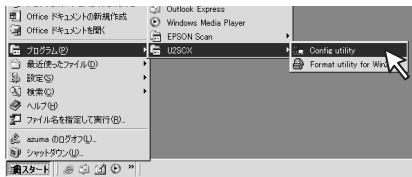
1. 一旦、本機をパソコンから外します。

接続されている本機を28ページ③「本機の取り外しについて」を参照して、パソコンから取り外してください。この時、他のUSB機器も取り外してください。

⚠ 注意: ●接続しているSCSI機器は本機に接続したままにしてください。
●USB接続のドライブ(DVD、MO、ハードディスクなど)を接続している場合は、取り外してください。USB接続のプリンタ、マウス、キーボードを取り外す必要はありません。

2. Windowsの【スタート】ボタンから、【プログラム】→【U2SCX】を選択し、【Config Utility】を選択してください。

※Windows 7/Vistaは【スタート】→【すべてのプログラム】→【RATOC SCSI Utility】→【U2SCX】→【U2SCX コンフィギュレーションユーティリティ】を選択してください。



3. 右図メニューが表示されます。
本機を接続していない状態では「デバイスを接続してください」のメッセージが表示されますので、本機をパソコンに接続してください。

※本機を接続済みの場合は、本機のUSBプラグを一度抜いてから挿してください。



4. しばらくすると、右図のように「処理を選んでください」のメッセージが表示され、2つのプログラムの選択が可能になります。

◆ Config Utility

本機に接続されたSCSI機器とのコンフィギュレーションをおこなう場合に選択します。使用方法は、31ページ**4**-2、「コンフィギュレーションについて」をお読みください。

◆ Firmware update Utility

本機のファームウェアのアップデートをおこなう場合に選択します。使用方法は、33ページ**4**-3、「ファームウェアアップデートについて」をお読みください。



4-2. コンフィギュレーションについて

Config Utilityを起動すると、右図の画面が表示され、【高度な設定項目を表示】のボタンを押すと下図画面が表示されます。



Config Utilityの各項目の説明

【Host SCSI ID】

本機のSCSI IDを示し、7番固定です。

【転送速度】

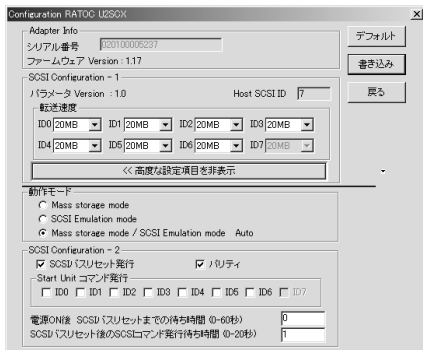
初期値は20MB/Secです。
転送速度は20MB/Sec、10MB/Sec、5MB/Sec、非同期の4種類で、各SCSI機器への転送速度を選択できます。

【動作モード】

初期設定は、「Mass storage mode / SCSI Emulation mode Auto」です。
モードを固定させたい時、「Mass storage mode」又は、「SCSI Emulation mode」を選択してください。(モードについては、16ページ **2**-4.「ドライバのインストール」をお読みください。)

【SCSI バスリセット発行】

初期設定は「有効」(チェックあり)です。
電源ON後、本機がデバイスに対しSCSIバスリセットを発行するかどうかを設定します。



【パリティ】

初期設定は「有効」(チェックあり)です。

パリティチェック機能のないSCSI機器がある場合に限り、無効にしてください。

【Start Unit コマンド発行】

初期設定は、全てのSCSI番号共「無効」(チェックなし)です。

電源ON時、Start/Stop Unitコマンドを発行しないとモータが回らないSCSI機器がある場合、その機器のID番号のボックスにチェック(有効)を入れてください。

【電源ON後 SCSIバスリセットまでの待ち時間】

初期設定は0秒です。

本機の電源ON直後にSCSIリセットを発行すると正しく動作しないSCSI機器用に、待ち時間を設定します。

Castle Wood ORBドライブ、Canon FB620S、SHARP JX-370を接続する場合は、2秒に設定してください。

【SCSIバスリセット後のSCSIコマンド発行待ち時間】

初期設定は1秒です。

SCSIバスリセットを発行後、すぐにSCSIコマンドを発行するとハングアップする機器に対して、待ち時間を設定します。



設定の変更をおこなった場合、【書き込み】ボタンをクリックしてください。【書き込み完了】のメッセージが表示され【OK】をクリックすると、メニュー画面に戻ります。

設定の変更は、本機の再起動後(電源のOFF/ON後)に有効となります。

28ページ③「本機の取り外しについて」を参照し、まず本機をパソコンから取り外してください。次に、接続している全てのSCSI機器の電源OFFをおこない(本機に別売のACアダプタを使用している場合は、ACアダプタを一旦外す)、タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。

再びSCSI機器の電源をON(又はACアダプタの接続)すると、変更内容は有効になります。

4-3. ファームウェアアップデートについて

Firmware update Utilityを使用すれば、最新版のファームウェアを弊社ホームページから入手し、アップデートをおこなうことができます。

- 29ページ **4-1**【コンフィギュレーションユーティリティの起動手順】を参照して右図メニュー画面を表示し【Firmware update Utility】をクリックしてください。



- 右図ダイアログボックスが表示されます。【ファームデータの書き込み】ボタンをクリックしてください。



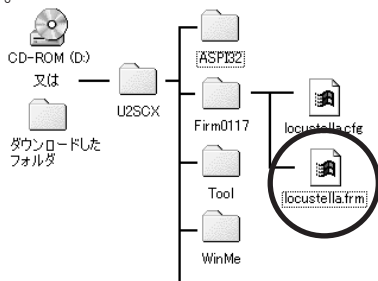
- 下図「ファイルの選択画面」が表示されます。添付CDの中、またはダウンロードしたデータファイルを検索し、ファイルを選択後【開く】をクリックしてください。ファームウェアの書き込みが始まります。

警告

ファームウェアの書き込み中は、絶対にパソコンから本機を取り外さないでください。ファームウェアの書き込みに失敗すると、本機は動作しなくなります。



- ファームウェア データファイルの拡張子は、「.frm」になります。
- ファームウェアのデータファイルは、添付CD、アップデートの場合共に、下図の場所の保存されています。



4. 書き込みが完了すると、右図メッセージが表示されますので、【OK】をクリックしてください。



ファームウェアのアップデートをおこなった場合、本機の再起動が必要です。28ページ③「本機の取り外しについて」を参照し、まず本機をパソコンから取り外してください。次に、接続している全てのSCSI機器の電源OFFをおこない(本機に別売のACアダプタを使用している場合は、ACアダプタを一旦外す)、タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。再びSCSI機器の電源をON(又はACアダプタの接続)すると、変更内容は有効になります。

4-4. フォーマットユーティリティについて



RSFmt2XP.EXE
E

このユーティリティは、本機に接続したハードディスクやMOメディアのフォーマットを行なうユーティリティです。
(注:CD-R/RW、DVD-R/RW等は、フォーマットできません。)

Windows 7/Vista/XP/2000用とWindows Me/98SE用があり、インストール時OSを自動的に識別してインストールされています。
また、両者には下記のような違いがあります。

■ Windows 7/Vista/XP/2000用の場合

Windows 7/Vista/XP/2000用は、OS標準のフォーマットプログラムとは異なり、下記障害が発生した場合に有効な、特殊なフォーマットプログラムです。また、このユーティリティでは、ファイルシステム「FAT32」によるフォーマットで、32GB以上のディスクにも対応しています。

新規ディスクをフォーマットする場合や、パーティションを変更する場合は、OS標準のフォーマットコマンドを実行してください。

- ディスクに対するアクセスができなくなった時。
- 論理フォーマットを実行してもディスクが認識しない時。
- 論理フォーマットを実行できなくなった時。

このユーティリティで上記障害を対策した後は、OSのディスク管理でフォーマットをおこなう必要があります。

■ Windows Me/98用の場合

Windows Me又は98SEのOS標準フォーマットプログラムでは、同一ディスク内で区画(パーティション)を分けることができませんが、このフォーマットを使用すると可能になります。

OSがWindows Me、又は98SEの場合、このユーティリティを使用して、ディスクのフォーマットをおこなうことをお勧めします。

Windows 7/Vista/XP/2000用 フォーマットユーティリティ

1. Windowsの【スタート】ボタンから【プログラム】→【U2SCX】を選択し、【Format utility for Win2K】をクリックしてください。

※Windows 7/Vistaでは【スタート】→【すべてのプログラム】→【RATOC SCSI Utility】→【U2SCX】→【フォーマットユーティリティ】をクリックしてください。

2. 右図画面が表示されますので、【初期化(フォーマット)するドライブ】のリストから、フォーマットをおこないたいドライブを選択後、【MBRの初期化】、或いは【物理フォーマット】をクリックしてください。

⚠ 警告

ドライブのリストには、本機に接続された以外のドライブ(IEEE 1394ポートや他のポートに接続されたドライブ)も表示されます。

【ホストアダプタ名称】に“RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter”と表示されている場合、本機に接続されたドライブであることを示しています。選択したドライブがフォーマットをおこなうドライブであることを、必ず確認してください。



Format utilityの各項目の説明

【更新】

このボタンをクリックすると、パソコンに接続されているドライブリストを更新します。対象のドライブが表示されない場合、このボタンをクリックしてください。

【MBRの初期化】

MBR(マスターブートレコード)が失われた(または無い)ディスクを初期化する場合に使用します。

Windows 2000でMBRに障害が発生したディスクが接続された場合、OS標準のフォーマットでは初期化できません。(Macで使用していたハードディスクをWindows 2000に接続すると、OSで認識せずハードディスクの初期化ができません。)このコマンドをご使用ください。

【物理フォーマット】

OS標準のフォーマットコマンドでは、SCSI接続のディスクは物理フォーマットを行うことができません。このコマンドをご使用ください。

【オプション】

このボタンをクリックすると右図画面が表示されます。この【フォーマット/初期化後にFATパーティションを作成する】を有効にする(チェックを入れる)と、MBRの初期化や物理フォーマットの実行後にFAT32形式の論理フォーマットも実行されます。(注:NTFS形式の指定はできません。)



重要

フォーマット後、ディスク情報を更新するために、本機の再起動が必要です。28ページ③「本機の取り外しについて」を参照し、まず本機をパソコンから取り外してください。次に、接続している全てのSCSI機器の電源OFFをおこない(本機に別売のACアダプタを使用している場合は、ACアダプタを一旦外す)、タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。再びSCSI機器の電源をON(又はACアダプタの接続)を行い、パソコンに接続すると情報は変更されます。

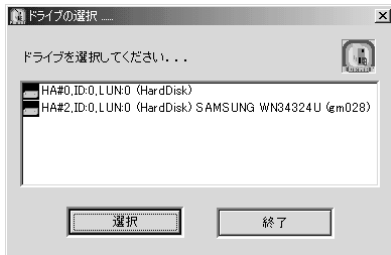
Windows Me/98用 フォーマットユーティリティ

1. Windowsの【スタート】ボタンから【プログラム】→【U2SCX】を選択し、【Format utility for Win9x】をクリックしてください。
2. 下図画面が表示されますので、フォーマットをおこないたいドライブを選択後、【選択】をクリックしてください。

警告

ドライブの一覧には、本機に接続された以外の機器(IEEE1394ポートや他のポートに接続された機器)も表示されます。

選択したドライブが、フォーマットをおこなうドライブであることを、必ず確認してください。

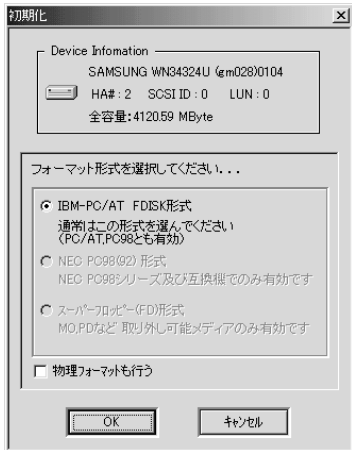


3. 下図画面が表示されますので、【処理】メニューより【メディア初期化】を選択してください。

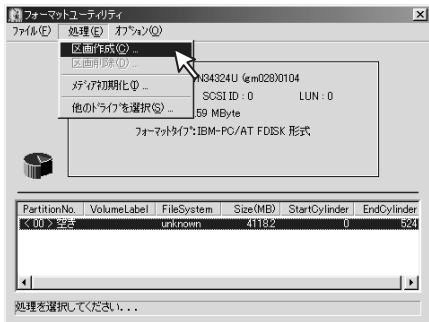


4. 右図画面が表示されます。
 フォーマット形式を選択後、【OK】をクリックします。物理フォーマットもおこなう場合は、【物理フォーマットも行う】のチェックBoxにチェックを入れてください。

なお、選択したドライブにより、選択できるフォーマット形式は異なります。
 ハードディスクを選択している場合は、【IBM-PC/AT FDISK形式】のみ選択でき、MOやPDなどを選択した場合は、【IBM-PC/AT FDISK形式】と【スーパーフロッピー(FD)形式】の両方が選択できます。
 【NEC PC98(92)形式】は、NEC社のPC-9800シリーズをご使用の場合の時のみ、選択可能です。



5. 次に区画(パーティション)を作成します。
 【処理】メニューより【区画作成】を選択してください。



6. 一つのドライブで区画を分ける場合は、スライダーを動かして、1区画ずつ作成していきます。
区画作成と同時にフォーマットもおこなう場合は、【フォーマット処理を行う】のチェックBoxにチェックを入れ、最後に【OK】をクリックしてください。

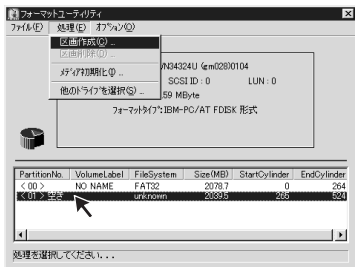
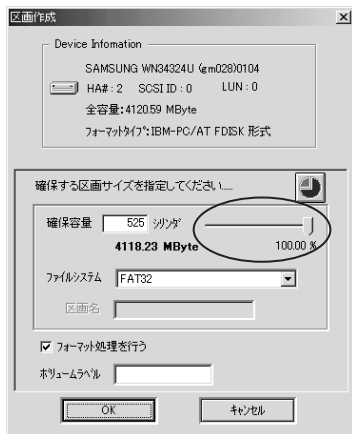
例：

一つのドライブを2つに分ける場合、まず、右図○印のスライダーを約50%の値に設定し、【OK】をクリックします。

次に、下記画面に戻りますので、“空き”と表示された方を選択後、再び【処理】メニューから【区画作成】を選択してください。次に区画作成する際は、スライダーの値を100%で設定し【OK】をクリックします。



【スパー-70ビット - (FD)形式】、及び【NEC PC98 (92)形式】の場合、区画作成はできません。



Mac OS編

本章からはMac OSをご使用の方への説明になります。
Windowsをご使用の方は10ページへお戻りください。

5

Macでのセットアップ

5-1. 機器の接続

⚠ 注意

※本機のSCSIコネクタピンは非常に破損しやすくなっていますので、取り扱いに充分注意してください。万一、取り扱い上の不注意などによりピンを破損した場合は無償保証の対象外となります。

※ケーブル接続の際は、コネクタの形状や向きを間違えないようご注意ください。

1. Mac OS Xの場合、スキャナやテープドライブを接続する際は、あらかじめドライバのインストールを済ませておきます。

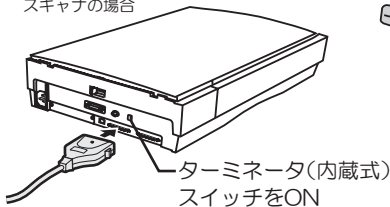
インストール方法は、お使いのSCSI機器の取り扱い説明書を参照ください。

※Mac OS 9.xの場合、スキャナやテープドライブを本製品で接続することはできません。

2. SCSI機器の電源OFFを確認し、本機とSCSI機器を接続してください。

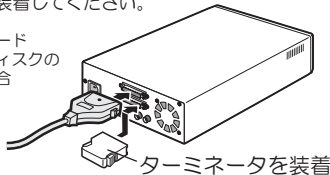
⚠ 注意 Macはデジチェーン接続に対応しておりません。

スキャナの場合

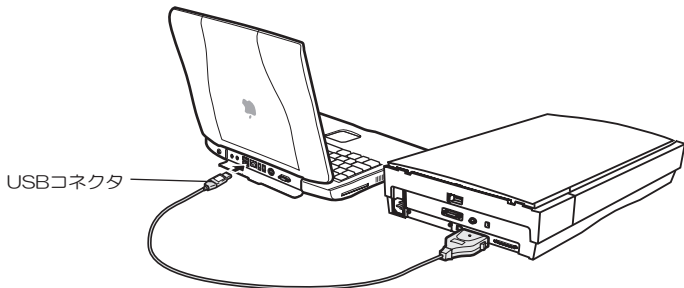


ターミネータが内蔵されていない場合は、必ず【アクティブターミネータ(終端装置)】を装着してください。

ハードディスクの場合



- SCSI機器のID番号を【7】以外で設定してください。(ID番号【7】は本機で使用) 設定スイッチは通常、SCSI機器の背面パネルにあります。詳しくはSCSI機器の取扱説明書をご覧ください。
- Macの電源をONにしてください。
- SCSI機器の電源をONにしてください。本機のPower LEDが点灯します。
- 本機のUSBコネクタをパソコンに接続してください。



- ハードディスクなどの場合、デスクトップにアイコンが追加されていれば、本機の接続は完了です。機器を使用できます。

※ボリューム名、アイコンは環境により異なります。

※スキャナ、テープドライブの場合、一般的にアイコンは表示されません。



ハード
ディスクの場合



MOの場合



CDの場合

スキャナやテープドライブを接続した場合は、44ページ **5**-2、「スキャナ、テープドライブをMac OS Xで使用するには」へ進んでください。

5 -2. スキャナ、テープドライブをMac OS Xで使用するには

- 本機の設定変更が必要（コンフィギュレーション）

45ページ **6** 「Mac OS X用ユーティリティソフトについて」を参照し、本機の動作モードを【Mass storage mode】に変更してください。

- スキャナ

SCSIスキャナの大部分はMac OS Xに対応していません。

ただし、以下のScanソフトウェアはSCSI機器ではなくUSB接続のSCSI スキャナ/フィルムスキャナでも使用することができます。別途購入してください。

- ・VueScan
- ・SilverFast

これらのソフトウェアの使用方法については、各ソフトウェアメーカーのマニュアルを参照ください。

- テープドライブ

テープバックアップ用のソフトウェアは別途購入してください。

- ・Retrospect
- ・Bru

これらのソフトウェアの使用方法については、各ソフトウェアメーカーのマニュアルを参照ください。

テープドライブの大半は68ピンWIDE SCSIコネクタとなります。別途68ピン⇔50ピン変換コネクタを用意してください。

6

Mac OS X用ユーティリティソフトについて

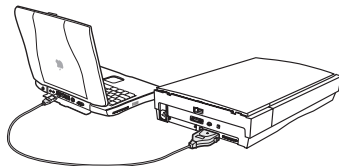
Mac OS X用のユーティリティとして、【Config Utility】と【Firmware update utility】の2種類を添付しています。どちらを使用する際も、必ず下記手順に従ってください。

スキャナやテープドライブを接続する場合は、【Config Utility】を使用し、動作モードを【Mass storage mode】に必ず変更してください。

使用方法

1. 本機がパソコンに接続されていることを確認してください。

※USBマウス、USBキーボードを除き、他のUSB機器は取り外してください。



2. 添付のCD-ROMをCDドライブに挿入後、マウントされたCD-ROMアイコンをクリックし、【U2SCX】フォルダー→【U2SCX_OSX】フォルダを開いてください。その中の、【U2SCX Utility】をダブルクリックします。

注意 問題なく本製品を使用できている場合は、むやみに起動しないでください。



3. 右図画面が表示されます。
本機に接続されたデバイスがマウントされている場合、アンマウントされている場合、アンマウントした後に【OK】をクリックしてください。



4. 右図画面が表示されます。

※スキャナやテープドライブを接続する場合は、動作モードを【Mass storage mode】に変更する必要があります。



Config Utilityの各項目の説明

【Firmware Rev.】

本機の現在のファームウェアバージョンを表示しています。

【SCSI Configuration Rev.】

このソフト(Config utility)のソフトウェアバージョンを表示しています。

【転送速度】

デフォルトは【Ultra】です。

転送モードは、Ultra、Fast-10、Fast-5、Asyncの4種類で、接続したSCSI機器への転送モードを選択できます。

【パリティ】

デフォルトは「有効」(チェックあり)です。

パリティチェック機能のないSCSI機器を接続している場合に限り、無効にしてください。

【SCSI バスリセット】

デフォルトは「発行」(チェックあり)です。

電源ON後、U2SCXがデバイスに対しSCSIバスリセットを発行するかどうかを設定します。

【Target SCSI ID】

デフォルトは【Auto】です。

Autoでは、SCSI ID0～6番までの機器全てに「転送モード」と「Start/Stop unitコマンド」の設定を行いますが、個別のSCSI ID番号を指定すると、指定したID番号に対してのみ設定を行います。

(重要:Macでは、本機を使用してSCSI機器のデジシーチェーン接続ができませんので、ここは常に【Auto】に設定しておいてください。)

【Start/Stop Unit コマンド】

デフォルトは「発行しない」(チェックなし)です。

電源ON時、Start/Stop Unitコマンドを発行しないとモータが回らないSCSI機器がある場合、ボックスにチェックを入れてください。

【電源ON後 SCSIバスリセットまでの待ち時間】

デフォルトは0秒です。

本機の電源ON直後にSCSIリセットを発行すると正しく動作しないSCSI機器用に、待ち時間を設定します。

Castle Wood ORBドライブを接続する場合は、2秒に設定してください。

立ち上がりの遅いSCSI機器では、40秒に設定してください。

【SCSIバスリセット後のSCSIコマンド発行待ち時間】

初期設定は1秒です。

SCSIバスリセットを発行後、すぐにSCSIコマンドを発行するとハングアップする機器に対して、待ち時間を設定します。

【動作モード】

デフォルトは、【Auto】です。

**注意**

Macの場合、【SCSI Emulation mode】にすると動作しません。
スキャナやテープドライブを接続する場合、【Mass storage mode】にしてください。

【デフォルト】ボタン

このボタンを押すと、全ての項目をデフォルトの設定状態に戻します。

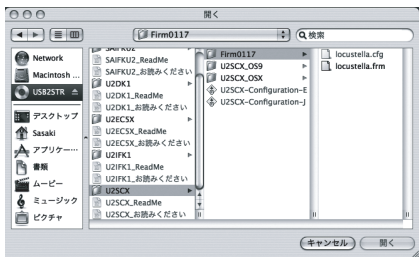
【コンフィギュレーションの設定】ボタン

変更後このボタンを押してください。設定内容が本機に書き込まれます。

【Firmware dataの選択】

このチェックBoxにチェックを入れると、右図のようなファイルの選択画面が表示されます。

書き込みたいファームウェアを選択して【開く】をクリックすると、メイン画面に戻りますので、【ファームウェアデータの更新】をクリックしてください。



⚠ 警告

ファームウェアの書き込み中は、絶対にパソコンから本機を取り外さないでください。
ファームウェアの書き込みに失敗すると、本機は動作しなくなります。



- ファームウェア データファイルの拡張子は、「.frm」になります。
- ファームウェアのデータファイルは、添付CD、またはダウンロードしたフォルダ内の、【U2SCX】フォルダ→【Frm0117】フォルダの中にあります。(フォルダの名前は変更になることがあります。)

Config Utility変更、又は Firmware update変更後について

内容の変更後は、本機の再起動後(電源のOFF/ON後)に有効となりますので、一旦本機をパソコンから取り外し、接続しているSCSI機器の電源のOFFをおこなってください。(本機に別売のACアダプタを使用している場合は、ACアダプタを一旦外してください。タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。)

再びSCSI機器の電源をON(又はACアダプタの接続)すると、変更内容が有効になります。

7

Mac OS 9.x用ユーティリティソフトについて

Mac OS 9.x用のユーティリティとして、【Config Utility】と【Firmware update utility】の2種類を添付しています。

転送速度などを変更したい場合に、インストールをおこなってください。

注意: 現在接続したSCSI機器が問題なく動作している場合、むやみに
コンフィギュレーション(設定の変更)をおこなわないでください。

インストール

1. Mac OS 9.xの場合、まず【機能拡張マネージャ】にて、「ユーティリティのインストールおよび実行時用のセット」を作成する必要があります。アップルメニューの【コントロールパネル】から【機能拡張マネージャ】を開いてください。
2. 【セット】を【Mac OS 基本】に変更し、【セットを複製】をクリックしてください。



3. 下図の画面が表示されますので、【複製したセットの名前】に任意の名前を入力し、【OK】をクリックしてください。



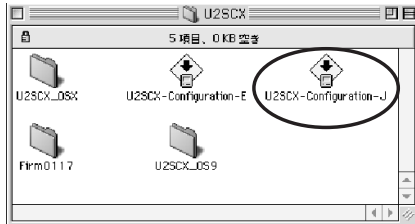
4. 次に、機能拡張にある下記ドライバーをOFFにして(×印を消して)、再起動をおこなってください。

- USB Autoring Support
- Autoring Support
- Disc Burner Extension

ドライバをOFFにした状態。



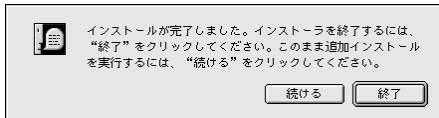
5. 添付のCD-ROMをCDドライブに挿入し、マウントされたCDドライブアイコンを開き、【U2SCX】フォルダ内の【U2SCX-Configuration-J】をダブルクリックしてください。



6. 右図画面が表示されれば、インストール先を確認の上【インストール】をクリックしてください。



7. インストールが完了すると下図画面が表示されますので、【終了】をクリックしてから再起動をおこなってください。



⚠ 注意

機能拡張マネージャにて、今回任意の名前で作成した起動用のセットは、ユーティリティのインストール、及びユーティリティの実行時に選択してください。ユーティリティ使用終了後は、それまで使用されていたセットに戻してお使いください。

使用方法

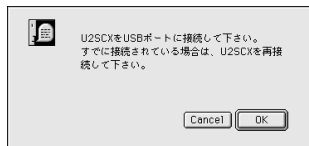
1. ユーティリティを起動する前に、確認作業をおこないます。
アップルメニューから【コントロールパネル】の【機能拡張マネージャ】を開いてください。
2. 起動用の【セット】が、50ページ「インストール」で作成したセットになっていること、および、このユーティリティソフトが使用する下記機能拡張ドライバが使用可になっていることを確認してください。

U2SCX UsermodeUTDriver

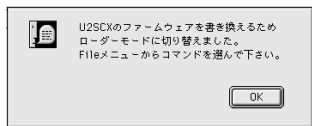
次に、機能拡張にある下記ドライバーが使用不可になっていることを確認してください。

- USB Autoring Support
- Autoring Support
- Disc Burner Extension

3. 指定したインストール先に【U2SCX】フォルダが作成されています。本機がパソコンから取り外されていることを確認後、【U2SCX】フォルダ内のU2SCXユーティリティをダブルクリックしてください。
右図画面が表示されれば【OK】をクリックし、本機を接続してください。



4. しばらくすると右図画面が表示されますので、【OK】をクリックしてください。



5. 【ファイル】メニューから、【Config Utility】もしくは【Firmware update utility】をお選びください。

Config Utilityの各項目の説明

Config Utilityを起動すると、右図画面が表示されます。

【高度な設定】のボタンを押すと下図画面が表示され、詳細な設定をおこなうことができます。

【転送モード】

デフォルトは【Ultra】です。

転送モードは、Ultra、Fast-10、Fast-5 Asyncの4種類で、接続したSCSI機器への転送モードを選択できます。

【Target ID】

デフォルトは【Auto】です。

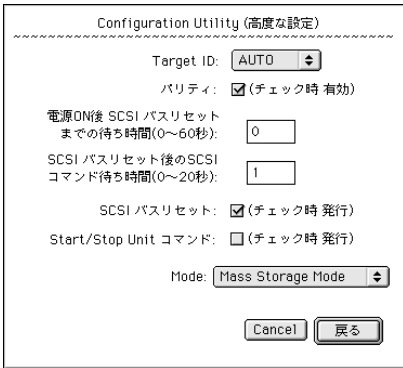
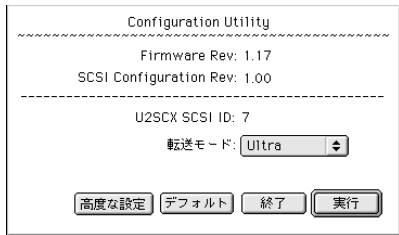
Autoでは、ID0～6番までの機器全てに「転送モード」と「Start/Stop unitコマンド」の設定をおこないますが、個別のSCSI ID番号を指定すると、指定したID番号に対してのみ設定を行います。

(重要:Macでは、本機を使用してSCSI機器のデイジーチェーン接続ができませんので、ここは常に【Auto】に設定しておいてください。)

【パリティ】

デフォルトは「有効」(チェックあり)です。

パリティチェック機能のないSCSI機器を接続している場合に限り、無効にしてください。



【電源ON後 SCSI/バスリセットまでの待ち時間】

デフォルトは0秒です。

本機の電源ON直後にSCSIリセットを発行すると正しく動作しないSCSI機器用に、待ち時間を設定します。

Castle Wood ORBドライブを接続する場合は、2秒に設定してください。

【SCSIバスリセット後のSCSIコマンド発行待ち時間】

初期設定は1秒です。

SCSIバスリセットを発行後、すぐにSCSIコマンドを発行するとハングアップする機器に対して、待ち時間を設定します。

【SCSI バスリセット】

デフォルトは「発行」(チェックあり)です。

電源ON後、U2SCXがデバイスに対しSCSIバスリセットを発行するかどうかを設定します。

【Start/Stop Unit コマンド】

デフォルトは「発行しない」(チェックなし)です。

電源ON時、Start/Stop Unitコマンドを発行しないとモータが回らないSCSI機器がある場合、ボックスにチェックを入れてください。

【Mode】

デフォルトは、【Mass storage mode】です。

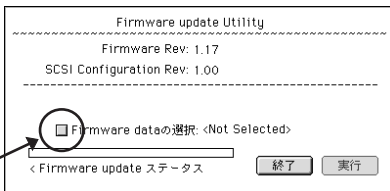
**注意**

動作モードは、【Mass storage mode】にしてください。
Macの場合、【SCSI Emulation mode】にすると動作しません。

Firmware update Utility各項目の説明

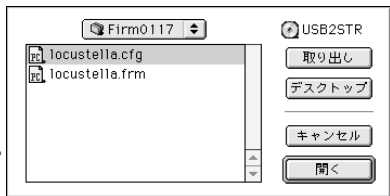
Firmware update Utilityを起動すると、右図画面が表示されます。

【Firmware Rev】の欄に、現在書き込まれているファームウェアのバージョンが表示されます。



【Firmware dataの選択】ボタンをクリックすると、右図画面が表示されますので、書き込みたいファームウェアを選択してください。

【開く】をクリックすると、上図画面に戻りますので、【実行】をクリックしてください。ファームウェアの書き込みが始まります。



⚠ 警告

ファームウェアの書き込み中は、絶対にパソコンから本機を取り外さないでください。
ファームウェアの書き込みに失敗すると、本機は動作しなくなります。



- ファームウェア データファイルの拡張子は、「.frm」になります。
- ファームウェアのデータファイルは、添付CD、またはダウンロードしたフォルダ内の、【U2SCX】フォルダ→【FrmO117】フォルダの中にあります。

Config Utility 又は Firmware update Utility 設定の変更後について

Config UtilityもしくはFirmware update Utilityの【実行】ボタンをクリックすると【書き込みが完了しました】のメッセージが表示されます。

【OK】をクリックし、【File】メニューから【Quit】を選択してユーティリティを終了させてください。

変更の内容は、本機の再起動後(電源のOFF/ON後)に有効となりますので、一旦本機をパソコンから取り外し、接続しているSCSI機器の電源のOFFをおこなってください。(本機に別売のACアダプタを使用している場合は、ACアダプタを一旦外してください。タームパワーの供給を停止することで、本機の電源がOFFになります。)

再びSCSI機器の電源をON(またはACアダプタを接続)すると、変更内容が有効になります。

8

こんなときは

8-1. トラブルQ&A

Q1: 本機のPower LEDが点灯しない。

A: まず、本機がSCSI機器にしっかりと接続されているかご確認ください。次に、本機に接続したSCSI機器の電源を入れても、本機のPower LEDが点灯しない場合は、SCSI機器からタームパワーが供給されていない可能性があります。供給されていない場合、別売のACアダプタ(RSO-AC05)が必要です。

Q2: 接続したSCSI機器が、PC上で未接続となる、または時々接続解除(アンマウント)される。

A1: SCSI機器のターミネータがONになっていること、もしくはアクティブターミネータが装着されていることを確認してください。

A2: SCSI機器のSCSI IDが0~6で設定されているか確認してください。

A3: ACアダプタを必要とするSCSI機器(特にMOドライブなど)では、SCSI機器から本機へ供給されるタームパワーが不足して、動作が不安定になる場合があります。この場合、別売のACアダプタ(RSO-AC05)を使用して、本機に電源供給をおこなってください。

Q3: SCSI機器へのコピー転送に失敗する。

A: 接続したSCSI機器へのコピーの途中でエラーメッセージが出たり、システムがフリーズする場合があります。この場合【SCSI コンフィギュレーションユーティリティ】を使用して、転送速度を落としてください。

特に、富士通社製MO(M2512A、M2513A)ドライブを採用している比較的古い一部のMOドライブを接続すると、ハングアップする場合があります。“ユーティリティソフトについて”の章を参照して、コンフィギュレーションユーティリティにて転送速度を10MB/sに設定してください。

Q4:新しいドライブアイコンが追加されない。(Windows)

A:フォーマット及び区画作成されていないハードディスクを接続すると、【マイコンピュータ】にドライブアイコンが追加されません。
35ページ **4**-4.「フォーマットユーティリティについて」を参照して、フォーマット、区画作成をおこなってください。

Q5:弊社製 USB2.0ホストアダプタ(REX-CBU2シリーズ)と本機を使用中、取り外し作業をおこなうと、「... 停止できません。」のメッセージが表示される。

A:USB2.0ホストアダプタ(REX-CBU2シリーズ)と本機を使用中、REX-CBU2の取り外しアイコン【RATOC CB USB Enhanced Host Controller】よりREX-CBU2を取り外そうとすると、「RATOC USB Mass Storage Device WDM (With MPD)がまだアクセスしているため、デバイスの停止ができません。」のメッセージが表示されます。
この場合、本機(の取り外しアイコン)の停止を先におこない、その後REX-CBU2の取り外し(アイコンの停止)を行ってください。

Q6:U2SCXコンフィギュレーションがU2SCXを認識しなくなりました。

A:USB Hard Disk、USB DVD-ROMなどのUSB Mass Storageデバイスが接続されている可能性があります。USB Mouse、USB KB、USB Printerは問題ありませんが、それ以外は一時的に外してください。

Q7:A3スキャナは大きいのでPCの近くに置けません。

A:USB延長ケーブルを使用すると信号の劣化が発生し、ほとんどの場合正常に使用できなくなります。USBケーブルを延長する場合は、必ずUSB2.0セルフパワーHUBをご使用ください。

8 -2. ドライバの削除

(OS標準ではない)本機専用の添付ドライバを削除する場合、以下の方法で削除をおこなってください。

Windows 7/Vistaの場合

1. デバイスドライバの削除

デバイスマネージャ画面を開いて、【記憶域コントローラ】の下の【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】と、【ユニバーサル シリアル バス コントローラ】の下の【RATOC USB MassStorage Device WDM (withMPD)】を選択して、両方とも削除(Deleteキーを押す)してください。

両方とも存在しない場合は、【ユニバーサル シリアル バス コントローラ】の下の【USB 大容量記憶装置】を削除してください。

2. INFファイルの削除

- 1). 【コントロールパネル】を開き、【プログラムのアンインストール】(クラシック表示では【プログラムと機能】)を選択してください。
- 2). インストールされているアプリケーション一覧より、【RATOC U2SCX Utility】を選択して、削除してください。
- 3). パソコンを終了して、本機を取り外します。

Windows XP、2000の場合

1. デバイスドライバの削除

デバイスマネージャ画面を開いて、【SCSIとRAIDコントローラ】の下の【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】と、【USB (Universal Serial Bus) コントローラ】の下の【RATOC USB MassStorage Device WDM (WithMPD)】を選択して、両方とも削除(Deleteキーを押す)してください。

両方とも存在しない場合は、【USB (Universal Serial Bus) コントローラ】の下の【USB大容量記憶装置デバイス】を削除してください。

2. INFファイルの削除

1). 【コントロールパネル】を開き、Windows XPの場合は、【プログラムの追加と削除】を、Windows 2000の場合は、【アプリケーションの追加と削除】をダブルクリックしてください。

2). インストールされているアプリケーション一覧より、【U2SCX】を選択して、削除してください。

3). パソコンを終了して、U2SCXを取り外します。

※ WinASPI32ドライバの削除

1). 【コントロールパネル】を開き、Windows XPの場合は、【プログラムの追加と削除】を、Windows 2000の場合は、【アプリケーションの追加と削除】をダブルクリックしてください。

2). インストールされているアプリケーション一覧より、【RATOC WinASPI32 for Windows】を選択して、削除してください。

Windows Me、98SEの場合

1. デバイスドライバの削除

- 1). 【コントロールパネル】を開き、【システム】のプロパティをダブルクリックし、【デバイスマネージャ】タブをクリックしてください。
- 2). 【SCSIコントローラ】の下の【RATOC U2SCX USB2-SCSI Converter】と、【ユニバーサル シリアルバス コントローラ】の下の【RATOC USB MassStorage Device WDM (WithMPD)】を選択して、両方とも削除してください。

2. INFファイルの削除

- 1). 【コントロールパネル】を開き、【アプリケーションの追加と削除】をダブルクリックしてください。
- 2). インストールされているアプリケーション一覧より、【U2SCX】を選択して、削除してください。
- 3). パソコンを終了して、U2SCXを取り外します。

9

お問い合わせ

9-1. 本製品に関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記窓口までお問い合わせください。
折り返し、メールまたはFAXにて回答いたします。

なお、ご質問に対する回答は下記営業時間内とさせていただきますのでご了承ください。また、ご質問の内容によりましては弊社にてテスト/チェックなどをおこなう関係上、回答までに時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

ラトックシステム株式会社 SCSISサポート窓口

【メール】 <http://www.scsiproshop.com/U2SCX/question.html>
※ SCSI Pro ShopのU2SCXの質問フォームをご利用ください。

【FAX】 06-6633-3553
※ 巻末の質問用紙をご利用ください。

営業時間 月曜～金曜 10:00～13:00、14:00～17:00
土曜・日曜・祝日及び弊社指定の休日を除く（受付は24時間）

SCSI Pro Shopはラトックシステムが運営するSCSIユーザーのための
情報ポータルサイトです。

9 -2. プロダクトキーについて

弊社では、プロダクトキーと呼ばれる16桁の認証コードを、1製品につき1個発行しています。プロダクトキーは、製品に添付されている保証書のシリアル番号欄に製品シリアル番号とともに印字されています。

(例) Product Key: NMft-DWQC-XtYg-Q8MA

このプロダクトキーは、正規ユーザであるかどうかの認証が必要な場合に認証キーとして使用されます。プロダクトキーによる認証を行う場合は、プロダクトキーのみでユーザ認証をおこない、ユーザ登録のような個人情報の登録が無くてもダウンロードの実行が可能となります。

詳しくは、弊社Webサイト(<http://p-key1.ratocsystems.com/>)をご覧ください。



ご注文の際、プロダクトキーが必要なオプションもありますので、紛失しないように大切に保管してください。

※プロダクトキーは再発行されません。

9 -3. 修理について

万一故障した場合は、本製品に添付の保証書記載内容に基づいて修理いたします。故障と思われる症状が発生した場合は、まず本書を参照し、接続や設定が正しく行われているかどうかご確認ください。

現象が改善されない場合は、SCSI Pro Shopの下記アドレス「修理について」を参照し、弊社修理センター宛に製品をお送りください。また修理に関してご不明な点がありましたら、SCSIサポート窓口までご相談ください。

- 〈製品送付先〉 ラトックシステム株式会社 修理センター
〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル
TEL:06-6633-0180
- 〈送付頂くもの〉 ・本製品の保証書の原本
・製品
・質問用紙（本書巻末の「質問用紙」に現象を明記してください。）
- 〈送付方法〉 宅急便など、送付の控えが残る方法でお送りください。
弊社への修理品の送料は、送り主様にご負担ください。返送の費用は、弊社が負担いたします。
輸送中の事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。
- 〈修理費用〉 保証書に記載の保証期間・条件のもと、有償となる場合があります。詳細は保証書をご覧ください。

修理についてのご案内

<http://www.scsiproshop.com/support/repair/>

10

オプション品のご案内

オプション品のご注文は、ラトックダイレクトにて承ります。

<http://rps.ratocsystems.com/>

●SCSIドライバCD

型番	品名
VCD-U2SCX	U2SCX Vista CD-ROM ※Windows 7に対応しています。

※SCSIドライバはSCSI Pro Shopにてダウンロードでの販売もおこなっております。

●その他オプション

型番	品名
RSO-AC05	ACアダプタ
RCL-USBDC-07	バスパワーケーブル
RSO-H50C50S	ハーフピッチピンタイプ50ピン⇄アンフェノールフルピッチ50ピンSCSI変換コネクタ


SCSIドライバダウンロードのご注文は、SCSI Pro Shopにて承ります。

<http://www.scsiproshop.com/>

●SCSIドライバダウンロード

型番	品名
VST-U2SCX	U2SCX Driver and Utility for Windows 7/Vista

※ダウンロード販売でご使用頂ける決済方法はクレジットカードのみとなります。

型番	U2SCX U2SCXV (Vistaドライバ同梱モデル)
名称	USB2.0 - Ultra SCSI Converter
転送速度	SCSI側 同期転送 最大20MB/sec (Ultra対応のSCSI機器の場合) 同期転送 最大10MB/sec (SCSI-II対応のSCSI機器の場合) 同期転送 最大 5MB/sec 非同期転送 (Async) USB側 データ転送レート 480Mbps(High Speed)/12Mbps(Full Speed)
SCSIコネクタ	ハーフピッチ・ピンタイプ 50ピン/オス型
USBコネクタ	USB Series Aコネクタ
サイズ	約190mm(W)×415mm(D)×315mm(H) (突起部を除く)
重量	約98g
電源電圧	+5V (SCSIタームパワーより供給が必要) タームパワーがない場合、別売のACアダプタまたはバスパワーケーブルが必要
消費電流	USBバスパワー 2mA (最大)、SCSIタームパワー 300mA (最大)
別売ACアダプタ (型番:RS0-AC05)	入力 AC 100-240V、50/60Hz 出力 DC 5V、2A 

U2SCX/U2SCXV 質問用紙

(第4.0版)

ラトックシステム株式会社 サポートセンター宛

お手数ですが、拡大コピーの上必要事項を記入して、FAXでお送りください。

FAX: 06-6633-3553

氏名			
会社・学校	※法人登録の方のみ		
部署・所属	※法人登録の方のみ		
住所	〒		
TEL		FAX	
メールアドレス			
製品型番	U2SCX・U2SCXV	シリアル番号	
購入店名			
購入年月日			

パソコン機種	メーカー名		型番	
使用OS				
使用SCSI 機器	メーカー名		型番	
質問内容				

提供いただいたお客様の個人情報は、サポート目的のみに使用し、他の目的には使用しません。
 弊社の個人情報取り扱いに関する詳細は、弊社ホームページをご覧ください。
<http://www.ratocsystems.com/info/privacy.html>



© RATOC Systems, Inc. All rights reserved.
Printed in Japan